

1. 大学名	茨城県立医療大学（茨城県稲敷郡阿見町大字阿見 4669 番地 2）
2. 実施主体（センター名）	<ul style="list-style-type: none"> ・保健医療学部放射線技術学科 ・地域貢献研究センター
3. 連携大学・コンソーシアムがあれば（大学・コンソーシアム名）	
<p>4. これまでの復旧・復興のための支援等の活動実績</p> <p>（例）</p> <p>学生ボランティアの派遣 教員のボランティア派遣 復興計画の策定</p>	<p><活動実績></p> <p>① 厚生労働省からの要請を受け、3月15日（火）から3月27日（日）までの間、放射線技術科学科教員延べ15人により水戸及び土浦保健所に派遣し、福島原発事故に係る県内避難者に対するスクリーニング等支援を行いました。</p> <p>② 同省からの要請を受け、東京電力（株）福島第一原子力発電所から20km圏内への一時帰宅者並びに30km圏外にある既存の常設スクリーニング会場でのスクリーニング等支援に従事しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・派遣時期 平成23年6月25日～7月24日の間、延べ16人 ・派遣先名称 福島県災害対策本部及び福島県内各被災地 ・派遣職種 放射線技術科学科教員（診療放射線技師） <p>③ 茨城県看護協会からの要請を受け、避難民のケアのため「災害支援ナース」を高萩総合福祉センター（茨城県高萩市）へ2名派遣した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・派遣時期 平成23年4月1日～4月4日の間、延べ8人 ・派遣先名称 高萩総合福祉センター（茨城県高萩市） ・派遣職種 県立医療大学付属病院看護師 <p>④ 被災地復興支援のため、教職員、学生及び大学スタッフ等から義援金を募り、金125,198円を日本赤十字社へ送金しました。（6月15日送金済）</p> <p><活動実績と自治体との連携・協力関係></p> <p>① 震災前からの連携の状況・協力体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・阿見町と連携協力協定を締結し、健康づくりプランの策定や地域高齢者の体力測定などを実施しています。 <p>② 現在の連携の状況・協力体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元阿見町との共催で「日常生活における放射線について考えよう」というテーマで、特別公開講座を実施した。（4月24日）

	<ul style="list-style-type: none"> ・牛久市の要請を受け、「放射線の健康影響について」というテーマで、市民講座を実施した。(7月6日)
5. 今後、予定している活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・複数市町村等の要請を受け、「放射線の健康影響について」というテーマで、市民講座を実施予定(8~10月頃)
6. 活動が、自治体の復興計画に記載されている場合(今後の予定を含む)又は自治体との連携協定がある、又は要望等がある場合(特に被災地の大学について)	

1. 大学名	群馬県立女子大学
2. 実施主体(センター名)	群馬県
3. 連携大学・コンソーシアムがあれば(大学・コンソーシアム名)	
4. これまでの復旧・復興のための支援等の活動実績	<p><活動実績></p> <p>① 学生有志により被災者への募金活動を行った（日本赤十字社へ；215,000円）。</p> <p>② 県が窓口となつて行う被災地向け救援物資の仕分け作業に学生がボランティアとして参加（2日間；実13人）。</p> <p>③ 県の被災地への人的支援で、事務局職員が宮城県、福島県へ支援活動のため業務派遣（3人、各9日、宮城県へ2人、福島県へ1人）</p> <p>④ 23年度入学者の22年度分調定入学料及び在学生の23年度授業料減免措置の実行（対象人数；入学料 2人、授業料 5人）。</p>
5. 今後、予定している活動内容	<p><活動内容></p> <p>未定</p>
6. 活動が、自治体の復興計画に記載されている場合(今後の予定を含む)又は自治体との連携協定がある、又は要望等がある場合(特に被災地の大学について)	

1. 大学名	群馬県立県民健康科学大学
2. 実施主体（センター名）	震災対策室
3. 連携大学・コンソーシアムがあれば（大学・コンソーシアム名）	
4. これまでの復旧・復興のための支援等の活動実績	<p><活動実績></p> <p>①学生によるボランティア活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・群馬県に寄せられた被災地への救援支援物資の仕分作業に学生が従事。（計2日間で学生・教職員のべ76名が参加） ・被災地ボランティア <p>本学学生5名が岩手県遠野市ボランティアセンターに5日間参加。</p> <p>②学生・教職員による募金活動</p> <p>平成22年度卒業生が街頭募金を行い、事務局窓口を設置した募金箱の分と合わせて約50万円を県に寄附した。</p> <p>③緊急公開講座の実施</p> <p>原発事故による放射線への関心の高まりに対応し、4月23日に第1回、5月14日に第2回（第1回と同内容）の緊急公開講座を一般県民を対象に実施。</p> <p>第1回：350人、第2回214人の参加者を得た。</p> <p>なお、要望により、本学Webページにおいて当日の様子を動画ファイルにて公開し、配布資料についてもアップしている。</p> <p>④診療放射線学部教員の各種メディアへの出演</p> <p>要請により、以下のとおりテレビ・ラジオの番組に、放射線に対する解説を行うために出演した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3月23日：群馬テレビのニュース番組に五十嵐均前診療放射線学部長が出演して解説。 ・4月8日：NHK「特報首都圏」にて、放射線測定の場面に診療放射線学部の杉野雅人講師が出演 ・4月20日：群馬テレビの報道特別番組に河原田泰尋診療放射線学部長がコメンテーターとして出演 ・4月22日：NHKラジオ「トワイライト群馬」に河原田診療放射線学部長が電話出演 ・5月25日：群馬テレビにて、第2回緊急公開講座の様子が放送される（5月28日 再放送） <p>⑤放射線測定機器の貸し出し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県保健予防課や繊維工業試験場等の機関に、サーベイメーターやポケット線量計等の機器を貸し出した。 <p>⑥事務局職員の被災地支援派遣</p> <p>4月に宮城県女川町へ1名、6月に福島県あづま総合運動公園避難所へ1名、7月に宮城県女川町へ1名が群馬県庁被災地支援隊として派遣された。</p> <p><活動実績と自治体との連携・協力関係></p> <p>② 現在の連携の状況・協力体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前橋市、みどり市、館林市、太田市などからの要請に応じ、本学診療放射線学部の杉野講師が放射線量の計測や、計測機器に関する講習会を開催するほか、さらに出前講座等で放射線に関する正しい理解・知識提供を行っている。
5. 今後、予定している活動内容	
6. 活動が、自治体の復興計画に記載されている場合（今後の予定を含む）又は自治体との連携協定がある、又は要望等がある場合（特に被災地の大学について）	

1. 大学名	高崎経済大学
2. 実施主体（センター名）	高崎経済大学 ボランティア活動については、高崎経済大学被災地支援ボランティア推進委員会
3. 連携大学・コンソーシアムがあれば（大学・コンソーシアム名）	
4. これまでの復旧・復興のための支援等の活動実績	<p><活動実績> 「高崎経済大学・東日本大震災復興支援プログラム」を策定し、下記の支援を行っている。</p> <p>①被災学生の就学等に係る支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学金および授業料の減免 ・同窓会と後援会による経済支援 ・「東日本大地震被災者支援特別推薦入試」の実施決定 ・教員による「たかさき架け橋基金」の設立 (URL)http://kakehashi-tcue.org/ ・学生による被災新生へ家電等リサイクル（卒業生の家電等のあっせん）活動 <p>②被災地域の復興に係る調査研究・支援活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被災した地場産業再生のための調査や群馬県内企業との連携推進 ・被災した地域のコミュニティ再生の地域調査と住民主体の計画づくり支援 <p>③学生、教職員の被災地域へのボランティア派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ○派遣人数（予定） ・A班（7/23～26） 学生 28 人、教職員 2 人 ・B班（7/27～29） 学生 28 人、教職員 2 人 ・C班（7/30～8/2） 学生 30 人、教職員 2 人 ・D班（8/4～8/7） 学生 24 人、教職員 2 人 ・E班（8/4～8/7） 学生 30 人、教職員 2 人 ○受け入れ先：ピースボート災害ボランティアセンター、等 ○活動内容：宮城県石巻市における側溝の清掃作業、等 <p><活動実績と自治体との連携・協力関係></p> <p>②現在の連携の状況・協力体制</p> <p>本学で仙台市震災復興検討会議委員・東松島市復興ビジョン策定チーム座長等を務めている教員がおり、当該教員は震災対応に関係する中間支援組織や復興まちづくりに多様な形で関与している。</p>
5. 今後、予定している活動内容	<p><活動内容></p> <p>①学内で研究チームを構成し、「中小企業（製造業）」「農林・水産業」「地域コミュニティ」「循環共生型社会」という4つの分野から、それぞれの再生・活性化に求められる地域支援システムを明らかにし、復興期に向けた被災地のまちづくりへの提言を行っていく予定である。</p> <p>②10月より「東日本大震災と復興について考える」をテーマとして、一般市民を対象に公開講座を実施することになっている。</p> <p>(URL)http://www.tcue.ac.jp/target/course2.htm</p>
6. 活動が、自治体の復興計画に記載されている場合（今後の予定を含む）又は自治体との連携協定がある、又は要望等がある場合（特に被災地の大学について）	

1. 大学名	前橋工科大学
2. 実施主体（センター名）	
3. 連携大学・コンソーシアムがあれば（大学・コンソーシアム名）	
4. これまでの復旧・復興のための支援等の活動実績	<p><活動実績></p> <p>①4月30日（土）、前橋市の有志（総勢250人）による被災地へのボランティア活動として本学でも、学生ら34名が「福島県いわき市」へ向かいました。現地では、津波により甚大な被害にあった観光物産センター「いわき・ら・ら・ミュウ」で泥や油で汚れた調理器具など、がれき撤去を行ってきました。</p>
5. 今後、予定している活動内容	
6. 活動が、自治体の復興計画に記載されている場合（今後の予定を含む）又は自治体との連携協定がある、又は要望等がある場合（特に被災地の大学について）	

1. 大学名	公立大学法人 埼玉県立大学
2. 実施主体（センター名）	埼玉県立大学
3. 連携大学・コンソーシアムがあれば（大学・コンソーシアム名）	
4. これまでの復旧・復興のための支援等の活動実績	<p><活動実績></p> <p>① 学生ボランティアの派遣 被災地から埼玉県内（さいたまスーパーアリーナ）に避難されている方を支援するため、学生約 70 名が保育ボランティア等の活動を実施。</p> <p>② 教職員ボランティアの派遣 被災地から埼玉県内（さいたまスーパーアリーナ、旧県立騎西高校等）に避難されている方を支援するため、保健師・看護師等有資格者を中心とする教職員 78 名（延べ人数）が健康相談などのボランティア活動（計 22 日間）を実施。</p> <p>③ 被災地への医薬品運搬に係る施設開放 日本ジェネリック医薬品学会が被災地へ医薬品を運搬するに当たり、本学施設を全国から集まる医薬品の“集積所”として提供し、本学から被災地に医薬品が運搬された。</p> <p>④ 学生による募金活動</p> <p>⑤ 被災地出身の学生を支援するため、入学金や授業料の減免を実施</p> <p><活動実績と自治体との連携・協力関係></p> <p>② 現在の連携の状況・協力体制 県内避難所へのボランティア活動に際して、県や県保健所、市保健センターなどと連携。</p> <p><その他の機関との連携・協力関係></p> <p>② 現在の連携の状況・協力体制 県内避難所へのボランティア活動に際して、地元医師会、看護協会などと連携。</p>
5. 今後、予定している活動内容	<p><活動内容></p> <p>被災地への学生・教職員によるボランティア派遣を計画中。</p>
6. 活動が、自治体の復興計画に記載されている場合（今後の予定を含む）又は自治体との連携協定がある、又は要望等がある場合（特に被災地の大学について）	

1. 大学名／ご担当者名／電話	首都大学東京
2. 実施主体（センター名）	公立大学法人 首都大学東京
3. 連携大学・コンソーシアムがあれば（大学・コンソーシアム名）	
4. これまでの復旧・復興のための支援等の活動実績	<p><活動実績></p> <p>(1) 大学で勤務している東京都職員の被災地支援派遣を実施</p> <p>(2) 被災地大学の学生支援</p> <p style="padding-left: 2em;">医療福祉系大学生の健康福祉学部への受入れ</p> <p style="padding-left: 2em;">（一時受講（教室の提供、授業の提供）、教員の派遣）</p> <p style="padding-left: 2em;">被災地高等専門学校生の受入れ（編入学の実施）</p> <p>(3) 義援金の募集</p> <p><活動実績と自治体との連携・協力関係></p> <p>現在の連携の状況・協力体制</p> <p style="padding-left: 2em;">・活動実績（1）の被災地支援派遣は東京都の事業</p>
5. 今後、予定している活動内容	<p><活動内容></p> <p>(1) 放射線汚染した木質系がれきの再利用等に関する共同研究</p> <p><活動内容と自治体との今後予定されている連携・協力関係></p> <p>① 今後の連携・協力体制</p> <p style="padding-left: 2em;">・東京都と連携し、上記活動内容（1）を行う予定である。</p>
6. 活動が、自治体の復興計画に記載されている場合（今後の予定を含む）又は自治体との連携協定がある、又は要望等がある場合（特に被災地の大学について）	<p><名称></p> <p>「東京都緊急対策2011」</p> <p><該当部分></p> <p>「○放射線汚染された木質系がれきの再利用等に関する共同研究</p> <p style="padding-left: 2em;">被災地の木質系がれきを再利用する際に障害となっている放射線汚染を除去する方策を被災県と協力して研究し、県内での再利用を進めるほか、植物を活用した農地における放射線汚染の除去についての研究を行います。」（10頁10行目）</p>

1. 大学名	神奈川県立保健福祉大学
2. 実施主体（センター名）	
3. 連携大学・コンソーシアムがあれば（大学・コンソーシアム名）	
4. これまでの復旧・復興のための支援等の活動実績 教員のボランティア派遣	<p><活動実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日 時：平成23年5月16日から20日 ・場 所：宮城県気仙沼市の宮城県気仙沼保健所をベースに支援活動 ・参加人員：1名 <p><活動内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮城県気仙沼保健所の理学療法士（県職員）をチーフにした気仙沼リハビリテーション支援活動に参加 ・気仙沼リハビリテーション支援活動とは： 宮城県気仙沼保健所の理学療法士（県職員）1名、群馬と埼玉の理学療法士各1名、大阪府と三重の作業療法士各1名の計6名のチーム。 活動詳細：午前午後各2避難所（避難所巡回は1週間に1度のスケジュール）を訪問しリハ的支援と在宅訪問を実施。対象者は上記保健所に申請登録された避難者の身体的、生活行動機能改善のリハ指導を行った。 1日に平均20名前後を対象とした。 <p><活動実績と自治体との連携・協力関係></p> <ol style="list-style-type: none"> ① 震災前からの連携の状況・協力体制 震災前の連携は無 ② 現在の連携の状況・協力体制 個別に情報交換 <p><その他の機関との連携・協力関係></p> <ol style="list-style-type: none"> ①震災前からの連携の状況・協力体制 無し ③ 現在の連携の状況・協力体制 社団：宮城県理学療法士会と個別に情報交換
5. 今後、予定している活動内容	<p><活動内容></p> <p>学生ボランティアセンターの企画運営による被災地ボランティア活動（具体的内容調整準備中）</p>
6. 活動が、自治体の復興計画に記載されている場合（今後の予定を含む）又は自治体との連携協定がある、又は要望等がある場合（特に被災地の大学について）	

1. 大学名	横浜市立大学																																																																										
2. 実施主体（センター名）																																																																											
3. 連携大学・コンソーシアムがあれば（大学・コンソーシアム名）																																																																											
4. これまでの復旧・復興のための支援等の活動実績	<p><活動実績></p> <p>医療支援</p> <p>自治体等からの要請により、以下の医療活動を実施（H23.7 末時点）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>概要</th> <th>派遣先</th> <th>医師</th> <th>看護師</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>DMAT</td> <td>羽田空港・花巻空港・福島県</td> <td>3</td> <td>7</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>検死活</td> <td>宮城県</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>医療救護班（横浜市救急医療チーム）</td> <td>宮城県</td> <td>20</td> <td>16</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>メディカルコントロール</td> <td>福島県</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>福島原子力災害現地対策本部業務</td> <td>福島県</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>精神科医チーム</td> <td>福島県</td> <td>5</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>放射線科医・放射線技師等の派遣</td> <td>福島県</td> <td>6</td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>心のケアチーム</td> <td>福島県</td> <td>13</td> <td>6</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>調剤支援業務（薬剤師）</td> <td>宮城県</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>老健施設への派遣</td> <td>横浜市</td> <td></td> <td>3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>福島派遣消防隊のメディカルチェック</td> <td>横浜市</td> <td>5</td> <td>9</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>通訳ボランティア（当時大学院生）</td> <td>宮城県</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>56</td> <td>41</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table> <p>【参考】医療支援に関する自治体等からの主な要請</p> <ol style="list-style-type: none"> ①横浜市健康福祉局からの宮城県気仙沼市への医療救護派遣依頼（H23.3.16） ②横浜市健康福祉局からの福島県への心のケアチーム派遣依頼（H23.3.25） ③横浜市健康福祉局からの福島県への心のケアチーム派遣依頼（H23.5） ④（社）神奈川県病院薬剤師会からの宮城県への薬剤師派遣依頼（H23.5） ⑤公立大学法人福島県立医科大学附属病院からの放射線科医師・放射線技師の派遣依頼（H23.3.28） ⑥公立大学法人福島県立医科大学附属病院からの精神科医師の派遣依頼（H23.3.25） ⑦福島原子力災害現地対策本部からの医師派遣依頼（H23.4.23、H23.4.29） ⑧横浜市消防局からの緊急消防援助隊職員健康診断の実施に係る医師派遣依頼 					概要	派遣先	医師	看護師	その他	DMAT	羽田空港・花巻空港・福島県	3	7	4	検死活	宮城県	1			医療救護班（横浜市救急医療チーム）	宮城県	20	16	7	メディカルコントロール	福島県	1			福島原子力災害現地対策本部業務	福島県	2			精神科医チーム	福島県	5			放射線科医・放射線技師等の派遣	福島県	6		3	心のケアチーム	福島県	13	6	11	調剤支援業務（薬剤師）	宮城県			1	老健施設への派遣	横浜市		3		福島派遣消防隊のメディカルチェック	横浜市	5	9	3	通訳ボランティア（当時大学院生）	宮城県			1	合計		56	41	30
概要	派遣先	医師	看護師	その他																																																																							
DMAT	羽田空港・花巻空港・福島県	3	7	4																																																																							
検死活	宮城県	1																																																																									
医療救護班（横浜市救急医療チーム）	宮城県	20	16	7																																																																							
メディカルコントロール	福島県	1																																																																									
福島原子力災害現地対策本部業務	福島県	2																																																																									
精神科医チーム	福島県	5																																																																									
放射線科医・放射線技師等の派遣	福島県	6		3																																																																							
心のケアチーム	福島県	13	6	11																																																																							
調剤支援業務（薬剤師）	宮城県			1																																																																							
老健施設への派遣	横浜市		3																																																																								
福島派遣消防隊のメディカルチェック	横浜市	5	9	3																																																																							
通訳ボランティア（当時大学院生）	宮城県			1																																																																							
合計		56	41	30																																																																							

	<p>(H23.3.23)</p> <p>⑨神奈川県からの DMAT 派遣依頼 (H23.3.16)</p> <p>⑩厚生労働省からの福島県内への DMAT 派遣要請依頼 (H23.5.31)</p> <p>修学支援</p> <p>科目等履修生の受入れ態勢を整備 →前期入学については応募者なし。後期入学については、8月3日～5日で出願受付中。 ※詳細は下記 URL を参照 http://www.yokohama-cu.ac.jp/admis/h23_kamokurishu_sp.html</p>
<p>5. 今後、予定している活動内容</p>	<p>医療支援については、今後、活動依頼等により検討。</p>
<p>6. 活動が、自治体の復興計画に記載されている場合（今後の予定を含む）又は自治体との連携協定がある、又は要望等がある場合（特に被災地の大学について）</p>	

1. 大学名	新潟県立看護大学
2. 実施主体（センター名）	
3. 連携大学名・ コンソーシアム名	
4. これまでの復旧・復興のための活動実績	<p><活動実績> ボランティア等の派遣要請に対応する準備として、学内で災害支援登録申請を取りまとめ、名簿を作成した。具体的な派遣実績は、これまで該当なし。 災害時に即対応するため、災害時支援用の必要物品を購入し常備した。</p> <p><活動実績と自治体との連携・協力関係></p> <p>① 震災前からの連携の状況・協力体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上越市と、災害時等における市指定避難所として開設及び運営に関する覚書を取り交わしていた。本震災では本学での開設はなかった。 <p>② 現在の連携の状況・協力体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上越市・妙高市・糸魚川市の防災担当課と、電話連絡により、県外からの避難者の健康チェックなどについて、協力を申し入れている。 ・大学としての活動実績はない。学生サークルで、避難所での合唱披露などの慰問活動が行われた。 <p><その他の機関との連携・協力関係></p> <p>② 現在の連携の状況・協力体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新潟県看護系大学災害支援連絡協議会に、本学教員 34 名が登録済。
5. 今後、予定している活動内容	<p><活動内容と自治体との今後予定されている連携・協力関係></p> <p>① 今後の連携・協力体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上越市などと連携し、県外からの避難者に対する支援活動を検討する予定である。 <p><その他の機関との連携・協力関係></p> <p>① 今後の連携・協力体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新潟県看護系大学災害支援協議会と連携し、被災地からの派遣要請に対応する体制を継続していく予定である。
6. 活動が、自治体の復興計画に記載されている場合（今後の予定を含む）又は自治体との連携協定がある、又は要望等がある場合	

1. 大学名	山梨県立大学
2. 実施主体（センター名）	震災ボランティア県大生の会
3. 連携大学・コンソーシアムがあれば（大学・コンソーシアム名）	
4. これまでの復旧・復興のための支援等の活動実績	<p><活動実績></p> <p>①被災地への学生ボランティアの派遣 宮城県気仙沼を中心に、これまで7回、延べ約40名の学生がボランティア活動に参加。</p> <p>②山梨県内での支援活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被災地支援活動を行う県内組織「チーム山梨」への参加 ・福島県からの避難者への支援活動（山梨福島県人会）への参加
5. 今後、予定している活動内容	<p><活動内容></p> <p>①被災地への学生ボランティアの派遣 夏休み中、宮城県気仙沼で、学生による子ども学習支援活動などを予定。</p> <p>②山梨県内での支援活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福島県からの避難者への支援活動も関係団体と協力して進める予定
6. 活動が、自治体の復興計画に記載されている場合（今後の予定を含む）又は自治体との連携協定がある、又は要望等がある場合（特に被災地の大学について）	

1. 大学名	都留文科大学
2. 実施主体（センター名）	
3. 連携大学・コンソーシアムがあれば（大学・コンソーシアム名）	
4. これまでの復旧・復興のための支援等の活動実績	<活動実績> 教員・学生による自主活動に任せている。団体結成届を提出している団体もある。
5. 今後、予定している活動内容	
6. 活動が、自治体の復興計画に記載されている場合（今後の予定を含む）又は自治体との連携協定がある、又は要望等がある場合（特に被災地の大学について）	

1. 大学名	長野県看護大学
2. 実施主体（センター名）	
3. 連携大学・コンソーシアムがあれば（大学・コンソーシアム名）	
4. これまでの復旧・復興のための支援等の活動実績	<p><活動実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 長野県が実施する人的支援に参加 <ul style="list-style-type: none"> ① 「心のケアチーム」の一員として教員（看護師）を派遣 <ul style="list-style-type: none"> ・ 4月11日～15日 宮城県 1名 ・ 7月12日～14日 宮城県 1名 ② 仮設住宅における健康調査等を行う「保健師チーム」の一員として教員（保健師）を派遣 <ul style="list-style-type: none"> ・ 7月25日～30日 福島県 1名 ◆ 学生に関する支援 <ul style="list-style-type: none"> ① 被災学生1名の授業料を減免 ② 実家が被災して避難中の学生家族へ、教職員及び後援会から見舞金を贈呈 ③ 地震の影響により受験できなかった者のため、追試験を実施 ◆ その他の支援 <ul style="list-style-type: none"> ① 東日本大震災及び長野県北部地震の被災地（栄村）へ教職員からの義援金を寄付 ② 「災害看護のチャレンジ」をテーマに公開講座を開催（7月16日） <p><活動実績と自治体との連携・協力関係></p> <p>県立大学として、長野県の行う活動に参加</p>
5. 今後、予定している活動内容	<p><活動内容と自治体との今後予定されている連携・協力関係></p> <p>県立大学として、長野県の行う活動に参加</p>
6. 活動が、自治体の復興計画に記載されている場合（今後の予定を含む）又は自治体との連携協定がある、又は要望等がある場合（特に被災地の大学について）	